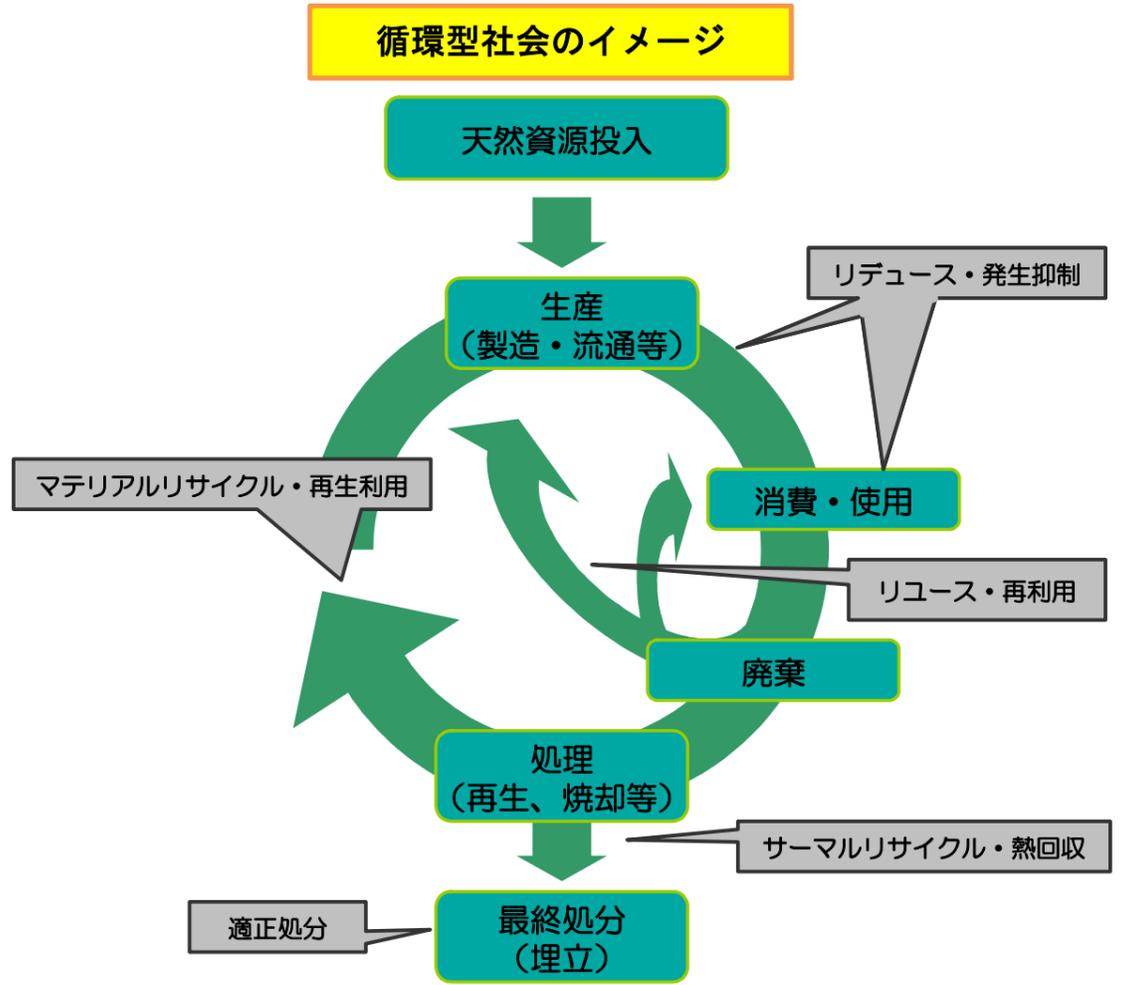


3 R (Reduce、Reuse、Recycle) の推進

1 3 Rの推進

生産、消費、使用から処理に至る中で、できるだけ発生抑制（リデュース）し、廃棄物となったものは、その特性に応じ、再使用（リユース）、リサイクルを行う。

リサイクルは、サーマルリサイクル（熱回収）とマテリアルリサイクル（再生利用）に分かれる。



リデュース (Reduce)

使い終わったあとに出るゴミの量を少なくする

- 簡易な包装の製品を選ぶ
- 詰め替え製品を使う



エコバッグ持参で
レジ袋削減！

リユース (Reuse)

一度使ったものをゴミにしないで何度も使う

- タオル、肌着などの繊維類は、雑巾、ふきんなどに再利用する
- 詰め替え製品を使う
- 衣服や贈答品などの不要品は、バザーやフリーマーケットなどに出すか、知り合いに譲る

リサイクル (Recycle)

使い終わったものを資源として利用し、製品をつくる

- 新聞、雑誌などは分別してリサイクルをする
- 食品トレーや牛乳パックは資源ごみとして回収しているところまで持って行く

2 家電リサイクルの推進

兵庫県内のリサイクル施設

- ・パナソニック エコテクノロジーセンター株式会社
年間処理量 約90万台(テレビ、エアコン、冷蔵庫、洗濯機等)



パナソニックエコテクノロジーセンター(株)HP より

都市鉱山

確定埋蔵量が明確、探索の必要なし

- 加工を経ているため、一般に天然鉱石より高品位
- 採鉱・製錬の必要がなく、省資源・省エネになる可能性が高い
- しかしながら、現在、廃棄物として、市町村が処理している使用済小型電子機器からは、十分な資源回収がなされていないのが現状



これまでの県の取組

- 家電量販店と連携した使用済携帯電話の回収(2010.3月～)
・67店舗で実施(2013.5現在)
- 小型家電からのレアメタルの効率的回収(2010～2013)
・ひょうごエコタウン推進会議に研究会を設置
・小型家電回収に関する社会実験を実施



使用済小型家電回収ボックス(明石市)